

新技術発表会 in大阪

～ 新技術、新工法の理解、活用促進に向けて ～

第15回
テーマ

土工、道路維持修繕、橋梁上部工、
共通工、仮設工、上下水道工 編

日時

2014.9/26 金

13:00～17:00 (受付12:00～)

会場

エル・おおさか 南ホール

(大阪市中央区北浜東3-14)

TEL.06-6942-0001

定員150人

新技術発表会プログラム

13:00
～13:05

お知らせ

13:05
～13:30

「ボンテラン工法」
／ボンテラン工法研究会

13:30
～13:55

「ポリマーセメント系乾式吹付けモルタル
『リフレドライショット』」／住友大阪セメント(株)

13:55
～14:20

「プラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ
動力工具『プリストルブラスター』」／G-TOOL(株)

14:20
～14:30

休憩(10分)

14:30
～14:55

「Cold Galvanizing ローバル工法」
／ローバル(株)

14:55
～15:20

「都市型側溝 シェイプアップスリット」
／ゴトウコンクリート(株)

15:20
～15:45

「地山補強土『PAN WALL(パンウォール)工法』」
／PAN WALL工法協会

15:45
～15:55

休憩(10分)

15:55
～16:20

「超大型モノレール(単線軌道)」
／内田産業(株)

16:20
～16:45

「SPR工法」
／日本SPR工法協会

申込方法

① FAX.06-6201-3928

(裏面の用紙に記載)

② ホームページ(URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

参加費

無 料

申込期限

2014年9月12日 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

連絡先

(株)建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係 (担当: 曾根、松本(道))

TEL.06-6201-3927

継続教育

CPDS認定

全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定講習(4ユニット)

アクセス



● 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m

● 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m

● 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m

● JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m

● 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、
法門坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

エル・おおさか
本館・南館

建通新聞社 大阪支社

第15回

新技術発表会

概要

土工、道路維持修繕、橋梁上部工、共通工、仮設工、上下水道工編

1

ボンテラン工法

ボンテラン工法研究会

第4種発生土および泥土に古紙破砕物(ボンファイバー)と固化材を添加混合する工法です。従来は生石灰安定処理工法で対応していた。本工法の活用により工期の短縮・コスト削減・品質の向上が期待できる。

2

ポリマーセメント系乾式吹付けモルタル「リフレドライショット」

住友大阪セメント㈱

本技術は、コンクリート構造物の断面修復における乾式吹付け工法で、従来は湿式吹付け工法で対応していた。本技術の活用により、施工時の粉塵の発生が抑えられ、且つ優れた厚付け性と長距離圧送性が期待できる。

3

ブラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具「プリストルブラスター」

G-TOOL㈱

鋼構造物の塗装前の素地調整において、ブラスト処理のような大型の機材や装置および研削材を使用せずに、ブラスト処理と同等の素地調整品質1種が得られるハンディな動力工具。

4

Cold Galvanizing ローバル工法

ローバル㈱

従来防食技術である溶融亜鉛めっきに見られるような鋼材の寸法・形状、施工場所の制限を受けることなく、工場及び現場施工に於ける常温での塗装により、溶融亜鉛めっきと同等の防食性能を有する塗膜を形成する技術。

5

都市型側溝 シェイプアップスリット

ゴトウコンクリート㈱

都市型側溝シェイプアップスリットは、初期コスト(製品価格)が安く水理性に優れているため、メンテナンス(側溝清掃)にもコストや手間をかけない画期的な側溝です。

6

地山補強土「PAN WALL(パンウォール)工法」

PAN WALL工法協会

PAN WALL工法は急勾配斜面安定工法、地山補強土工法の理論に基づく工法です。比較的短い補強材と表面工としてプレキャストコンクリート板を使用します。急勾配(1分~5分、3分を標準)化により自然法面や支障物を保護し、「逆巻き工法」を基本とした安全性の高い工法です。

7

超大型モノレール(単線軌道)

内田産業㈱

本技術は急傾斜地(35°~50°)において重量物を運搬する超大型モノレールの技術である。本技術は、支持台式にレールを敷設し、特別仕様車・ミキサ車・3転ダンプ車・フラットデッキダンプ車・クレーン車の各台車にて最大4tの資機材が運搬できるシステムである。

8

SPR工法

日本SPR工法協会

本技術は地中に埋設された老朽管渠内に強固な複合管を形成し管渠の更生を行う製管工法で、従来は開削による管敷設替えで対応していた。本技術の活用により交通規制等の周辺環境への影響の減少とコスト縮減が期待出来る。

9月26日(金)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: 06-6201-3928

右記、記入の上
上記FAX番号迄ご送付ください

所属 企業名・団体名

氏名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

住所 〒

電話番号

FAX番号

E-mail